

# 下関における子育て支援ニーズの実態調査

——ふくふくこども館調査の経年比較を通して——

桑 畑 洋一郎

## 要 旨

下関市次世代育成拠点施設である「ふくふくこども館」の利用者に対する調査を昨年度に引き続き実施した。本研究はその結果の記述と、昨年度調査との比較を行うものである。結果、昨年度調査と比べてリピーターが多くなり、改善を要する点を示す声も低くなっていることが明らかとなった。館の運営が軌道に乗っているということである。とは言え一方で、下関市における子育て状況の不備を指摘する声もあり、下関市が他地域よりも進歩的であることも見えたものの、同時に、子育て支援ニーズへの応答必要性が今年度も示された結果となった。

キーワード：子育て支援，子育て支援ニーズ，ふくふくこども館

## 1. はじめに

本研究は、下関市次世代育成支援拠点施設である「ふくふくこども館」の利用者に対して、2015年8月から9月にかけて行った質問紙調査（以下「2015年度調査」とする）を元に、下関において子育てを行っている人々がどのような意識を持っているのか明らかにすることを目的とする。なお、昨年度も、本研究で用いる調査とほぼ同型の調査を行っているため、昨年度調査（以下「2014年度調査」とする）の結果と比較しながら、子育て支援ニーズの変化を見ることも本研究の目的としている。

既に先立つ研究（桑畑 2014）（桑畑 2015）でもレビューしたように、2000年前後より、子育て支援をめぐる、子育て当事者へのニーズ調査や意識調査が蓄積され始めている（たとえば（勝浦・福岡 2003）（勝浦・福岡 2004）（勝浦・福岡 2008）（大津 2004）（武田 2007）（管田ほか 2009）（木脇 2012）など）。また、子育て支援を担う支援者側への重要な研究も提示され（松木 2013）、子育て支援を求める側と支援を行う側の両側面から、「育児の社会化」（松木 2013）の実態把握と課題析出が進められている。

とは言え自治体によってはまだまだ実態の把握が進んでいないところもある。もちろん下関市でも、自治体による子ども・子育て支援新制度施行に向けたニーズ調査は実施されているが、文脈限定的である。

そこで本研究では、子育て支援に対するニーズの実態把握をより多角的に行い、蓄積を増やしていくために、昨年度に続き実施された2015年度調査の結果の報告と分析を行っていくことと

する。このことには以下の2つの意義が挙げられるだろう。第1に、「育児の社会化」をめぐる研究においてさらなる蓄積をもたらすという意義である。第2に、子育て支援におけるニーズの実態を把握し課題を析出することで、あるべき子育て支援の方向とそのために必要な政策提言を行えるという社会的意義である。

なお本研究は以下の構成を取る。続く第2章からは、2015年度調査の結果を記述していく。第3章では得られた結果に対して、必要に応じて2014年度調査の結果と比較しながら若干の考察を行う。第4章では本研究をまとめ、必要な提言をいくつか示すこととしたい。

## 2. 2015年度調査結果の記述

### (1) 調査の概要

ここでは、2015年度調査の結果を記述していくこととする。

まずは2015年度調査の概要を述べたい。調査票は、2015年8月から9月にかけて、ふくふくこども館の来館者に配布し、調査協力を依頼する形で行った。配布時には、既に調査に回答していないことを確認の上配布している。したがって、2014年度調査と重複している回答者はいないが、サンプリングは行えていないため、結果については留意が必要である。回答は自記式である。有効回収率は39.0%であった(117通/300通)。ただし、設問によっては無回答があり、集計からは無回答を除外しているため、設問ごとに回答者数は異なる。なお、調査票については末尾に付録として記載した。

### (2) 調査結果の記述

ここからは、2015年度調査の結果を記述していく。

#### 回答者の続柄

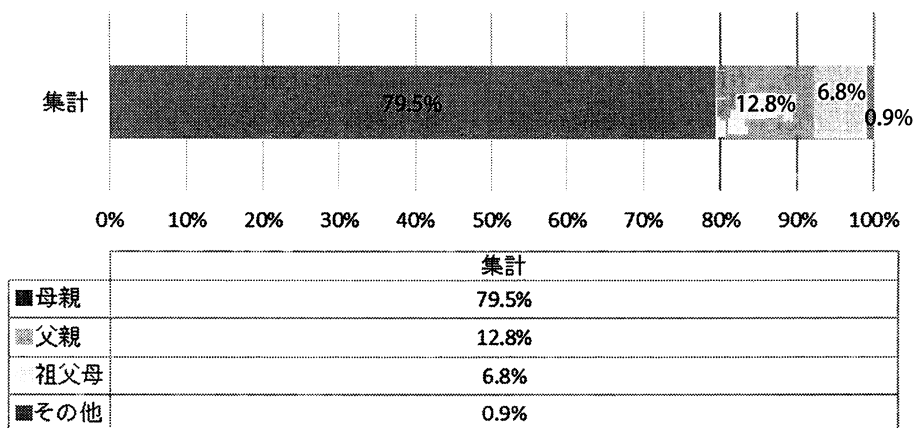


図1：回答者の続柄 (n=117)

### 回答者の年齢

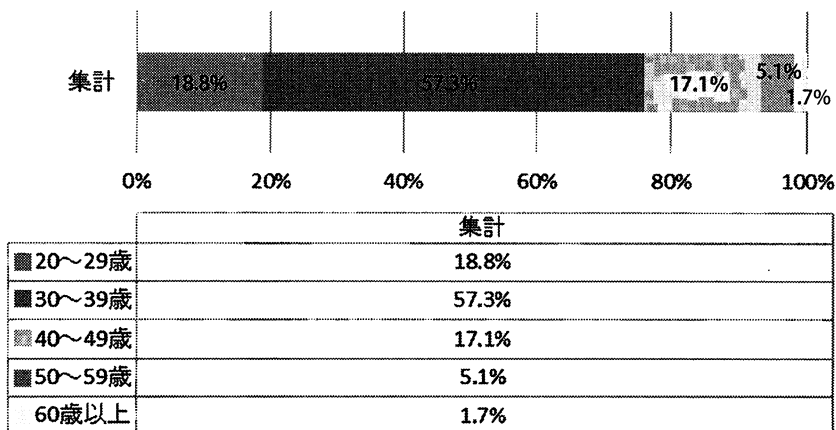


図 2：回答者の年齢 (n=117)

### 回答者の居住地

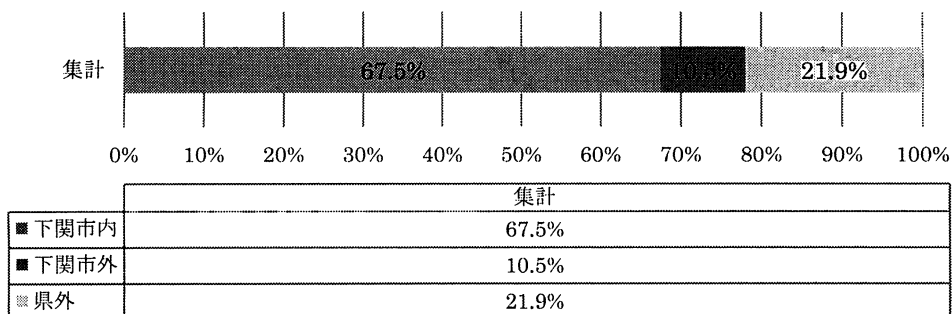


図 3：回答者の居住地 (n=117)

### 回答者の就労状況

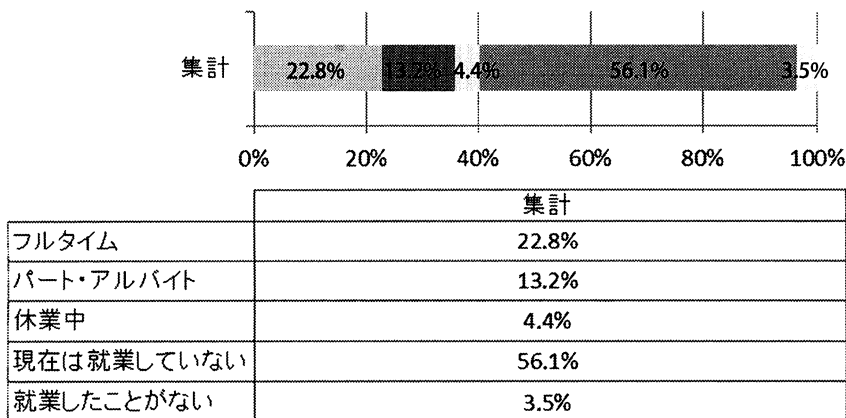


図 4：回答者の就労状況 (n=114)

基礎的な項目の結果については上記の通りである。また、子どもの人数は平均1.57人、子どもの年齢は平均3.88歳<sup>(1)</sup>であった。

続いて、ふくふく子ども館に対する利用状況と意識を見ていきたい。

### 子ども館を知った経緯

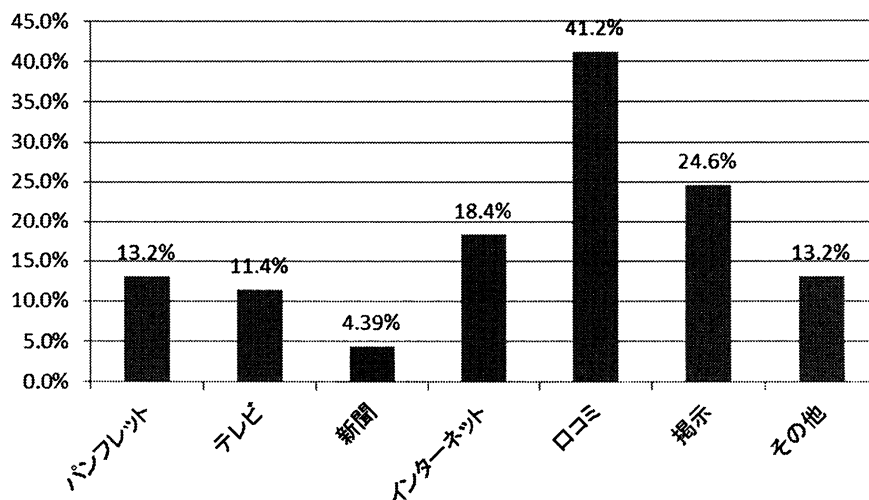


図5：子ども館を知った経緯（複数回答可）（n=114）

### 来館回数

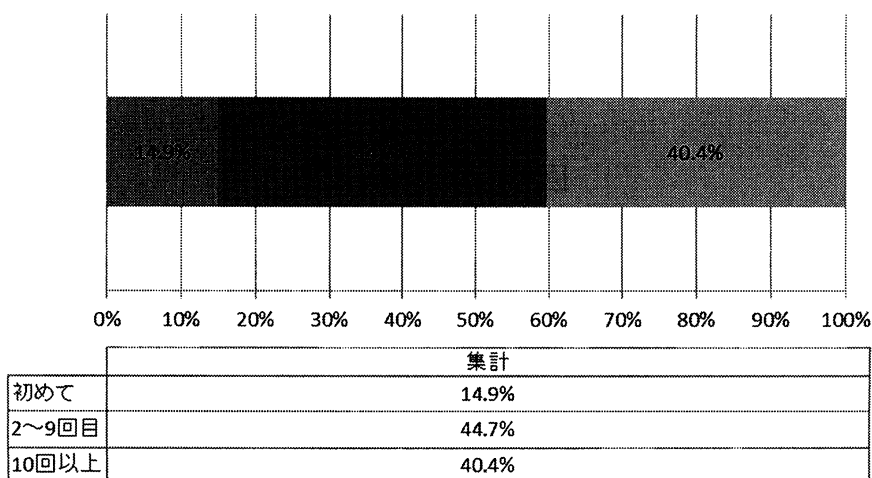


図6：子ども館への来館回数（n=114）

### 利用満足度

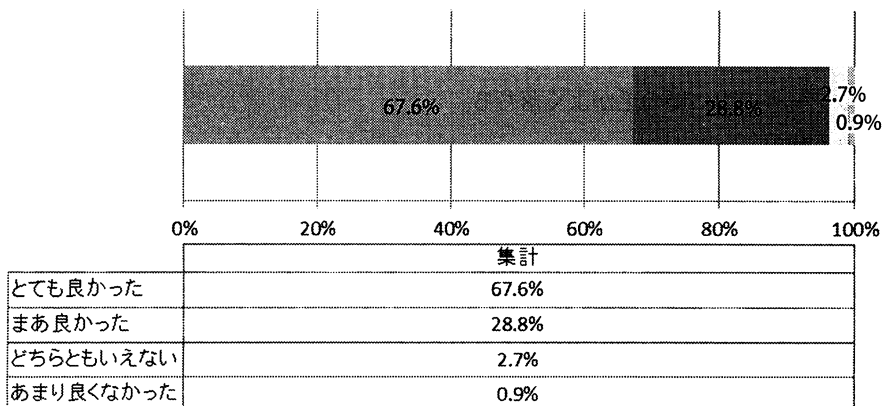


図6：こども館の利用満足度 (n=112)

注目すべきは、今回の回答者の9割近くがリピーターであるということである。利用満足度は「とても良かった」と「まあ良かった」を合計すると9割以上に達し、非常に高い満足度を得られているように思われるが、リピーターだからこそ満足度が高い（あるいは満足度が高いからこそリピーターになっている）可能性を考慮する必要があるだろう。

なお、満足度が高いからと言って全く改善を要しないわけではなく、続く設問では以下のような結果が得られた。

### 改善を要する点

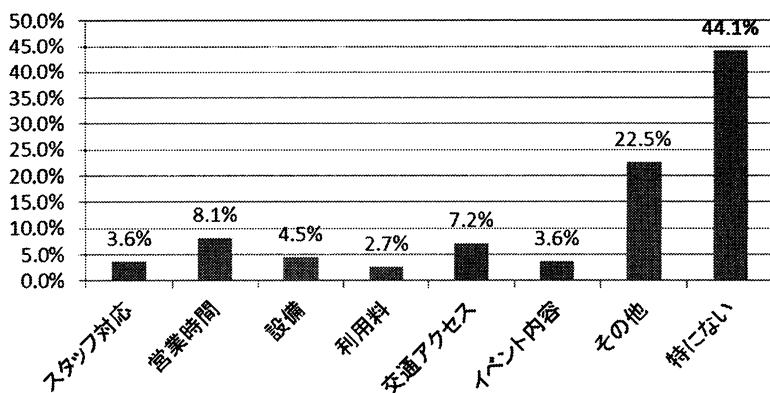


図7：こども館の改善を要する点（複数回答可）(n=111)

上掲図のように、「特にない」が4割と高いものの、特に「その他」は若干高い。「その他」の内実を列挙すると以下の通りである。

表1:「その他」の内実

- 駐車場のサービス券がほしい
- 子どもの入館制限
- ボールプールの中に髪の毛がよく落ちる。
- 駐車場の割引
- 駐車場券がほしい
- 駐車場代
- 駐車料金がかかるので長居できない
- シーモール駐車場料金の割引があるとうれしい
- もっと冷房を効かせてほしい
- メインのボールプールを年齢層区分（時間 or 複数設置）
- 駐車場の割引
- 子どもが着替えをするスペースがあれば助かります。
- 駐車料金の割引
- 大きい子の遊び方
- 年中無休にしてほしい
- 駐車場の利用料
- 駐車料が必要なので、利用料がないのは嬉しいが、全て無料で1日遊べない。
- 駐車場
- 駐車場代
- 駐車場の割引
- 普段から屋上開放してほしい
- 口うるさすぎる
- ふくふく館を利用するにあたって、駐車料が車で来る際にかかるので、駐車料の負担がなくなると嬉しいです。
- こども館利用者に駐車場を何時間か無料にしてほしい。

昨年と同様に駐車料金に関して改善の要望が多い。とは言えしかし、この調査を実施した後の2016年1月より「当面」の間、プレイランド利用時に2時間分の駐車割引券が配布されることとなっており<sup>2)</sup>（ふくふくこども館 2015）、こうした要望への対応がさらになされていると思われる。

また、その他館への要望や意見を自由記述で尋ねたところ、以下のような結果が得られた。

表 2：その他館への要望や意見

- 毎回、来るたび少しずつ遊具が違うものがあり、とてもうれしいです。
- 小学生の入館について。きょうだいだと OK なのに、いどこになるとダメだというのがおかしい。「8歳まで」とか年齢制限にするのはどうか？小学生はボールプールが使えないなど以前使用した時より制限が厳しく、せっかく来たのに、子どもがいじけて泣いてしまい、全く楽しめなかった。次からは来れないと感じた。
- お絵かきコーナーとかあればいいなと思う
- 駐車場の1時間券をいただけたらありがたいです。
- 駐車場代の割引があればいいなと思います
- いつも丁寧に対応してくださり、ありがとうございます。
- ボールプール内で壁に登らないよう注意されたが、いかにも登りたくなるような場所なので、注意書きをしてもらえれば、見守っている保護者も注意できたのでそうしてほしい。
- 子どもが大好きで駅から近く便利なのでよく活用させていただいています。
- 駐車場の割引サービスがあると、もっと利用がしやすいです。
- 何もなくていいからただ走れるだけのスペースがほしい。回廊のような、体育館のような、もっと体を動かせるようなのがほしい。登れるようなところも。
- 絵本の読み聞かせ、手遊び、おゆうぎなど、短時間でいいので、午前中に行ってほしい。
- 問題はありますが、5歳以上くらいになったら、そばにいらなくても、1人で遊ばせてもらえるとう助かります。(買い物とかに出るといふのではなく、入り口近くで待つとか)
- 駐車料金の割引をしてほしい
- 毎回色んな遊びが工夫されてあって親子で楽しませていただいています。
- 駐車利用料金
- 駐車場の割引券が2～3時間あれば助かります
- 屋上の開放をしてほしい
- 駐車場
- 自販機に飲み物を買いにいくだけで、いちいち子どもを連れて行け…とか、あまりに口うるさい。
- 遊具が充実していて、天候に関わらず利用できるのがとても良いが、車で来て、駐車料金がかかるのが残念。ここの利用者は無料になる等工夫してほしい。
- 暑かったりするので、空調管理をもう少ししてほしい。子どもは少しくらい走り回るものなので、あまり厳しく言いすぎな気がする。
- オムツを捨てられるようにしてほしい。
- 駐車場サービス券を発行してほしい(継続して)

続いて、ふくふくこども館そのものからは少し離れて、利用者たちが子育て上感じていることについて見ていきたい。

気軽に相談できる相手

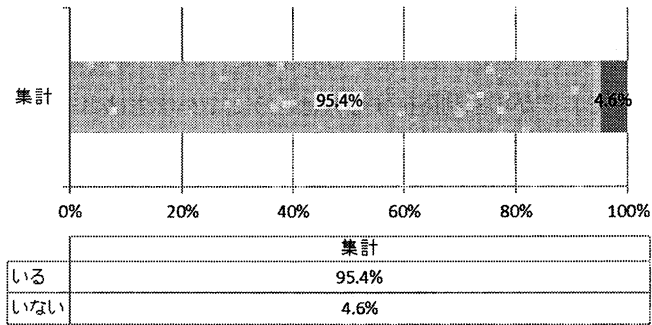


図8：子育てについて気軽に相談できる相手の存在 (n=108)

相談する相手

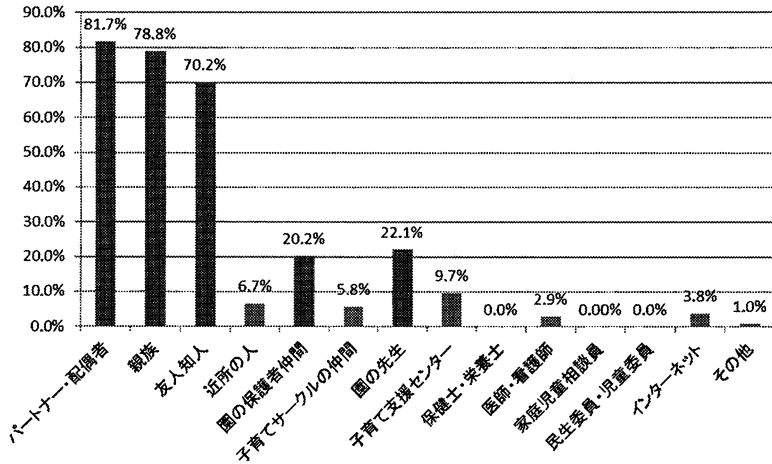


図9：相談できる相手の内実（前問に「いる」と答えた人のみ）（複数回答可）(n=104)

子育てに関する負担や不安

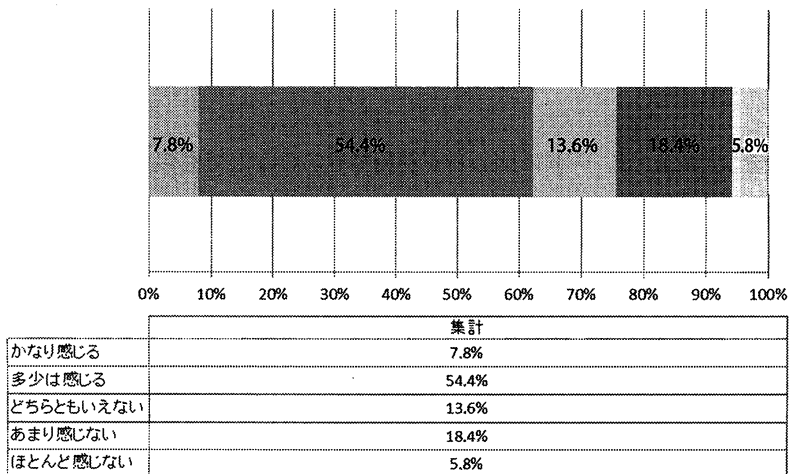


図10：子育てに関する負担や不安 (n=104)



### 居住地域への満足度

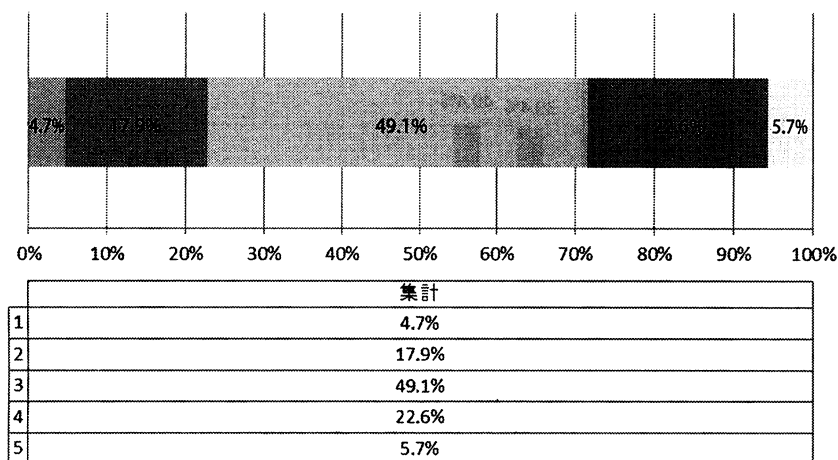


図 11：子育て環境における居住地域への満足度（5点満点）（n=107）

子育て環境における居住地域への満足度はそれなりにあるものの、一方で子育てに関する負担や不安を感じる回答者が多いことが分かる。

### 子育てについてほしい情報

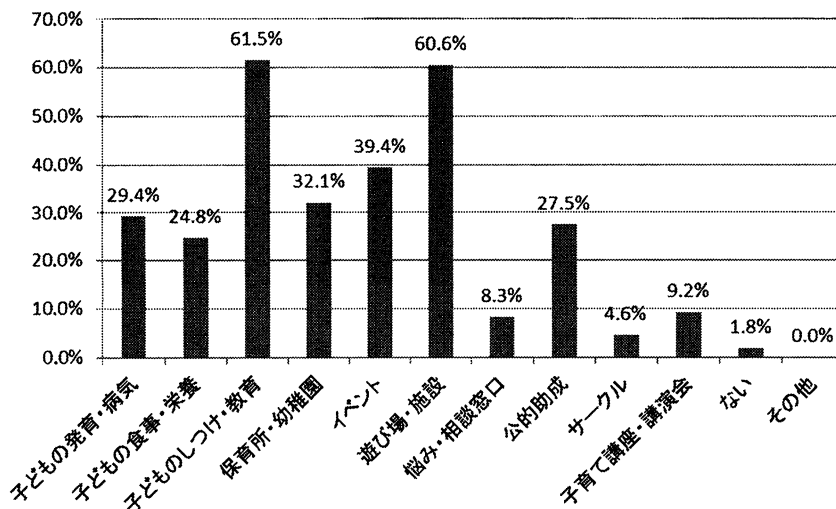


図 12：子育てについてほしい情報（複数回答可）（n=108）

### 子育てに関する情報源

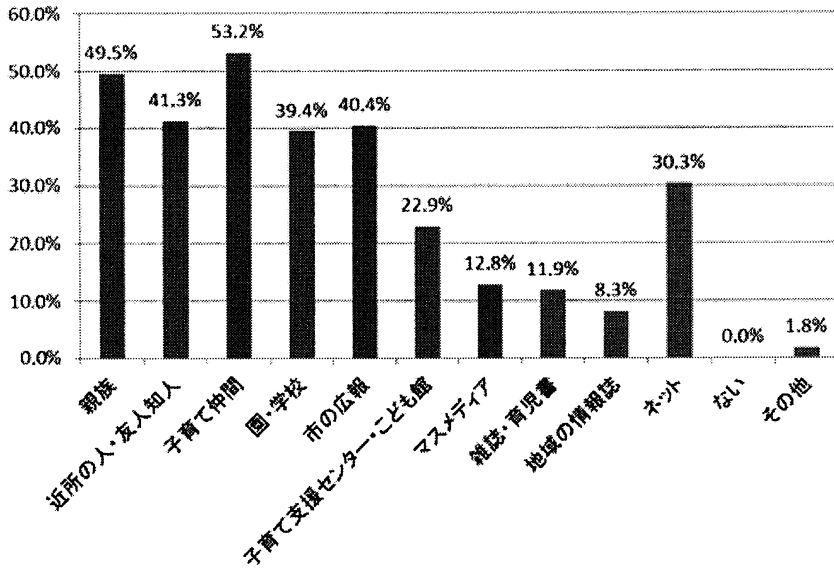


図 13：子育てに関する情報源（複数回答可）（n=109）

### 下関での外出時に困ること

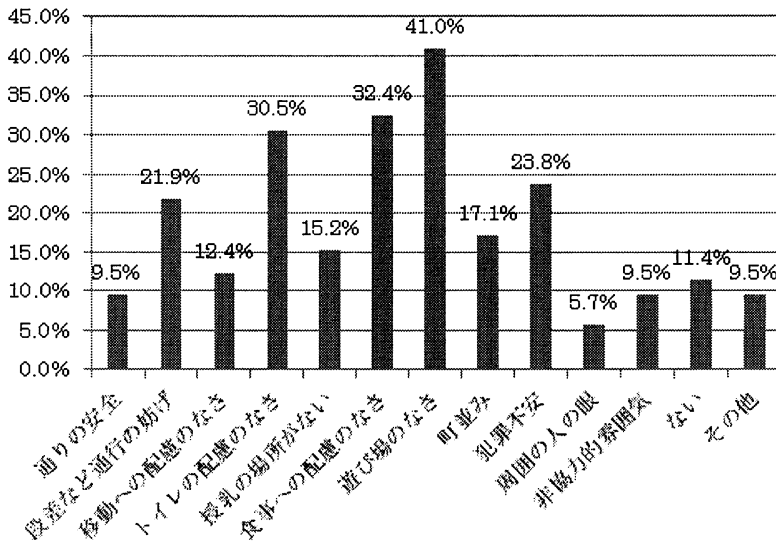


図 14：下関で外出時に困ること（複数回答可）（n=105）

子育て中の人々が求めている情報は「子どものしつけ・教育」「遊び場・施設」が高く、実際に下関で子育てをしていく上で困っている部分についても「遊び場のなさ」が高い。また、「食事への配慮のなさ」や「トイレへの配慮のなさ」などが高いことから、これらの部分で下関は子どもと外で活動することにおいて不便が生じるまちであることが分かる。

最後の設問として、下関で子育てをしていて感じることを自由記述で回答してもらった。結果は以下の通りである。

表3：下関の子育て環境に関する意見

- 先日、大阪岸和田より下関に越してきましたが、子供の遊び場は、下関は多いと感じています。
- もうすぐお兄ちゃんが小学生になるが（一の宮小学校）、通学路が広くなく、車道と一緒になっていて、車が人がいてもとまらずに狭い道を走るので危ないと思います。勝山地区のように、ちゃんと歩道と分けてくれると、安全だなーと思います。
- 1日中、小さな子どもから大人まで遊べる公園が少ないと思います。もう少し遊具も充実させてほしい。ふくふくこども館のように天候に関係なく遊べるところがもう1か所くらいあってもいいと思います。下関東部には児童館もないので。未就学児だけでなく、小学生でも遊べる施設がほしい。
- 駅直結の子供の遊び場があり、とても便利です。
- 交通の便の良いところに無料で使える施設ができて良かった。
- 乃木浜公園近辺にふくふくのようなものがほしい。それと子どもと老人用体育館のようなもの。自由に使えて、子どもが走り回れるところ。スポーツする人用じゃなく、老人のウォーキングとか子どもと老人のキャッチボールくらい。
- 京都からこちらに転勤で来ました。外出をしても、特にご年配の方から優しくお声かけをしてもらうことも多く、本当に子育て世代に優しい町だなあと感じます。バスに子供と乗った時などは、皆さんが席を譲ろうとくださり、とても感動しました。児童館、子育て支援センターのスタッフの方々も配慮が行き届いており、日々感謝です。
- 昔に比べると子育てを助けてくれる施設も増え、保健所の方が家まで訪問してくださったり、1人で子育てしなければならぬお母さんにとってはずいぶん心強いと思います。ふくふくこども館のお預かりはとても助かりました。でもできれば、7時まで預かっていただけでももっと助かります。シーモールのカルチャーが7時までであるので…。
- シーモール大丸はベビーカーでは大変不便ですね。オムツ換えする場も少ないし、換えたいときにすぐおむつ交換できない。ふくふくこども館のような場所が広島に住んでいる時には近くになかったので、無料で楽しく遊べる場所があるのはいいですね。
- 新しい施設には設備が配慮されているが、その他の施設の充実感が薄い。男性用トイレにもオムツ交換台を完備してもらえると助かる（だいぶ設置されてはきているが）
- 以前住んでいて、子どもが集まれるお祭りや催しものが地域であるとうれしいなと思いました。
- 小さな子と出かけられる場所が増えてくれるとうれしいです。
- 小学校入学してからの預かってもらえるところ（学童保育等）サポートが充実すればいいなと思います。乳児～幼稚園くらいに目がいきやすいですが、小学校低学年もまだ大人の力が必要だと思います。

- 医療費の補助を小中学生まで拡充してほしい
- 宇部より下関の方が子育てしやすそうです（子どもを気軽に遊ばせる場所があるのはうれしいです！！）。宇部には合っても規模が小さい。今後下関に引っ越すことが高い確率であるかです（仕事の関係で）、より子育てしやすい環境を提供していただけたらうれしいです。宇部人からすると下関はとっても魅力のある街です。
- たくさんのサービスがあるのに、知らないサービスが多すぎる。調べ方もわからず、たまたま知っている人から聞くことが多い。もっとアピールしないと子育てに消極的な街と言われてしまう。特におとなり北九州と比べられたりする。
- 助成金等はこちらが調べないと分からないことも多くあります。支払いについては知らずとも払込み票が送られてきますので、受け取れる助成金等も同様にしてほしいと思います。
- ふくふくこども館のような施設が旧豊浦郡のほうにもあったらいいな…と思います。行って帰るだけで1時間半以上かかるので。
- 働く母親にとって、病気になった時に預けられる病児保育の機関がもっと市内に増えるといい（今は少ないような気がする）。ふくふくこども館のような施設が、市の北部（新下関近く）にもあるといい（子育て人口の多いところに）。地域にある児童館が土・日・祝日に休館なので休みの日に利用できない。気軽に、しかも親切に子育て相談に乗っていただけるように、そういう人、場所を増やしてほしい（利用できるように広報活動ももっとして情報を発信してほしい）。
- ふくふくのように、もう少し子どもと遊べる施設があると嬉しい（低価格）。下関市民プールを、もう少しきれいで楽しい施設に立て替えてほしい。公園に雑草が生えているところが多い。全体的に、子どもと遊べるところが寂れている気がします。
- トイレの個室の中に、赤ちゃんが座らせられるところがあるといいなと思う。私は長門市に実家があるのですが、191号線にもっと赤ちゃんを入れるトイレや授乳室があったらいいな—と思います。

結果の記述としては以上である。続いては、2014年度調査の結果との比較を行いながら分析を進めたい。

### 3. 分析

ここからは、2014年度調査と2015年度調査の比較を行いながら、ふくふくこども館利用者の意識にどのような変化があったのかを見ていく。なお、全項目の比較ではなく、特に大きな変化があった来館回数の比較と、館の運営上重要であるふくふくこども館への満足度と改善点、提言をする上で重要となる子育て環境への改善点に絞って分析を進めていきたい。

### 来館回数

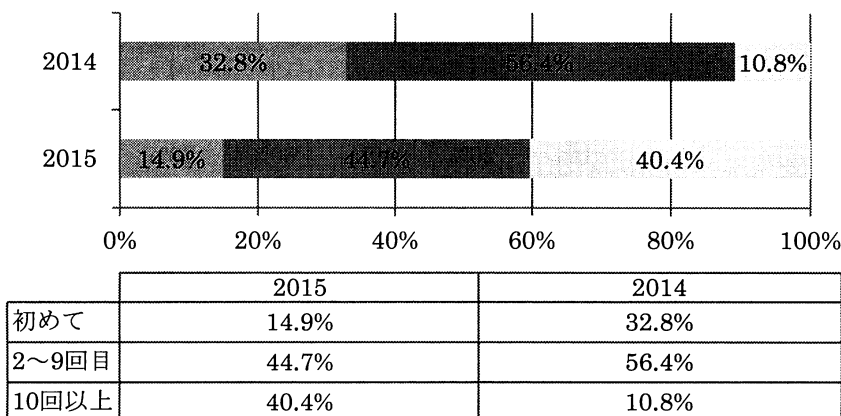


図 15：来館回数の比較

2015年度調査の方がリピーターが増え、特に10回以上来館しているヘビーユーザーが増加している。このことは喜ばしいことではあるだろうが、一方では、新規利用者の開拓が停滞していることも意味し、新規利用者向けの取り組みが必要とも言える。

### 改善を要する点

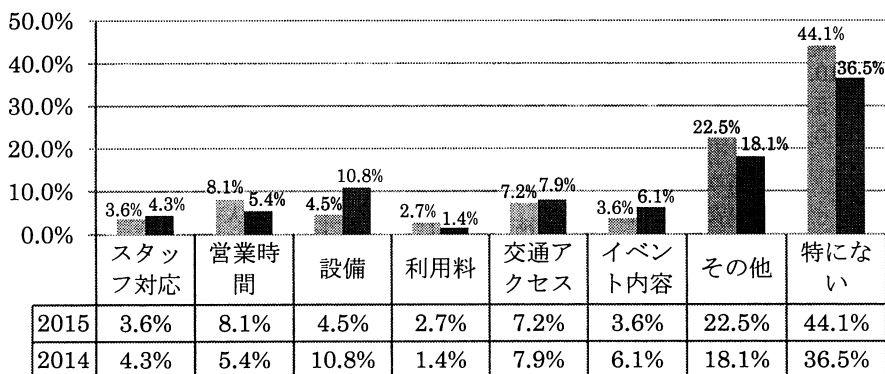


図 16：改善を要する点の比較（複数回答可）

一見したところ、変化が出ているのは「設備」「イベント内容」が2014年度調査より低くなっていること、「その他」「特にない」が2014年度調査より高くなっていることである。開館2年目に入り、設備やイベントなどが軌道に乗ってきたことをあらわしているのだろう。なお、設問とは順序が逆になるが、満足度を比較してみると以下の通りである。

### 満足度

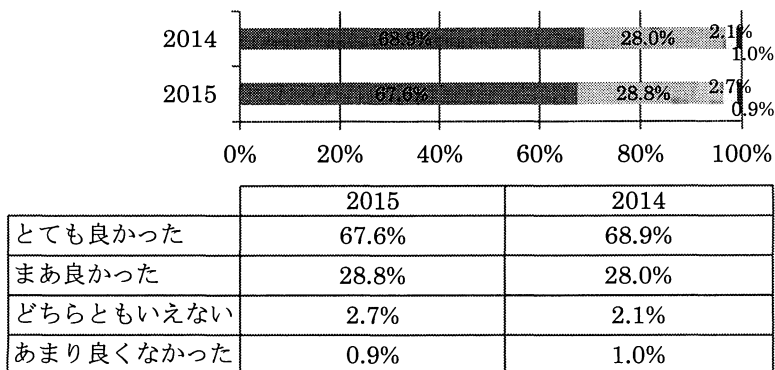


図 17：こども館利用満足度の比較（複数回答可）

以上のように、満足度そのものにはほぼ変化がない。

続いて、子育て環境についての地域への改善点を見てみる。

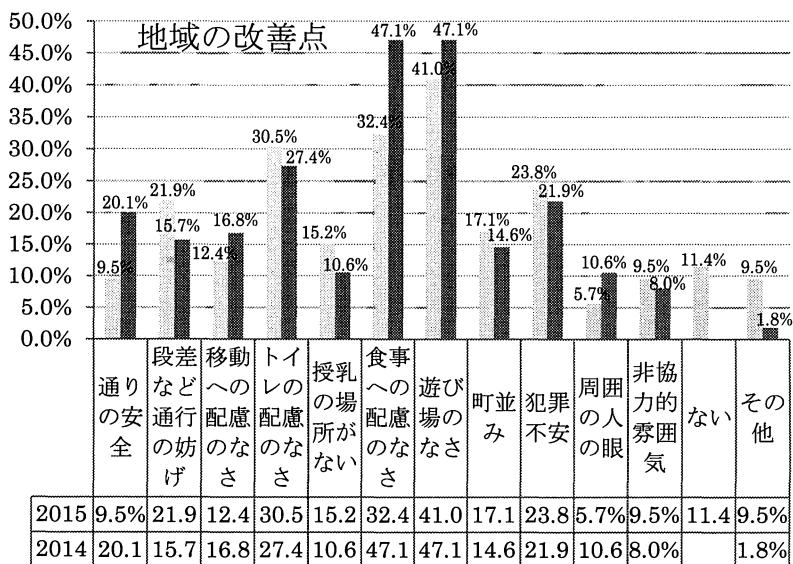


図 18：地域の改善を要する点の比較（複数回答可）

以上のような結果となっている。ただし、2014年度調査と2015年度調査は、設問の内容とワーディングを変えているので単純に比較はできない。具体的にはまず、設問を「お子さんと外出する際」から「下関市でお子さんと外出する際」に変更している。つまりは、下関の育児環境に限定する問いとしている。また、2015年度調査では「ない」を追加した。そのことも加味して結果を読み解く必要がある。言うならば、2014年度調査は——下関居住の回答者が7割ほどはいたので（桑畑 2015）、かなりの部分下関のことを示す結果ではあると言えるが——下関以外の地域も含んだ複数地域の改善点であり、2015年度調査は下関限定の改善点を示すと言える。そ

れをふまえて見ると、下関は他の地域と比較して、「段差など通行の妨げ」や「トイレの配慮のなさ」に問題があること、一方で「通りの安全」や「異動への配慮のなさ」「食事への配慮のなさ」においては他の地域よりも進歩的であることが推測できる。

#### 4. おわりに

最後に本研究で見えてきたことをまとめて、幾許かの提言をして本研究を終えることとしたい。

本研究では、ふくふくこども館利用者調査を元に、下関における子育て支援に関するニーズの実態と課題を析出してきた。研究の結果、ふくふくこども館にはリピーター、特にヘビーユーザーが増え、こども館が下関に定着してきていること、ゆえに少なくともこども館が定着した分は下関の子育て支援環境が改善されてきていることが示唆された。とは言え一方で、そのことは新規利用者の開拓が頭打ちになっていることも意味しており、子育てに関する情報や資源にアクセスしにくくゆえにこども館などの施設にもなかなか足を運ばない／運べない子育て当事者の存在を想定すると、新規利用者の開拓を行う新たな方策が必要とも言える。この点が、本研究から示唆された第1の課題であろう。また、下関市全体に目を向けると、特に「遊び場のなさ」・「食事への配慮のなさ」・「トイレへの配慮のなさ」が絶対値として高く、「段差など通行の妨げ」が相対的に高いことが示された。環境の改善にはコストもかかるし、個人レベルでどうにかなることではないことも多いため、簡単に改善できることではないのも事実だが、こうした環境を整えることもまた、子育てを推進していく上で必要なこととなるだろう。これが本研究から示唆された第2の課題である。

今後も研究を継続し、経年的な比較を行いながら下関の変化を追うと共に、子育て支援をめぐる人々の意識に関する調査の蓄積に資することとしたい。

#### 文献

- ふくふくこども館, 2015, 「ふくふくこども館からのお知らせ」(<http://fukufuku-kodomokan.jp/>: 2016年1月25日に最終アクセス).
- 萩原久美子, 2006, 『迷走する両立支援——いま、子どもをもって働くということ』太郎次郎社エディタス.
- 管田貴子・増田貴人・伴碧, 2009, 「青森県における子育て支援の実態と保護者のニーズに関する調査(1)——保護者へのインタビューから」『弘前大学教育学部紀要』102:67-74.
- 勝浦範子・福岡欣治, 2003, 「子育て支援施設に対する市民ニーズの反映——『浜松こども館』に関する実践的研究」『静岡文化芸術大学研究紀要』4:1-6.
- , 2004, 「『浜松こども館子育て支援アンケート2003』の報告——子育て支援ニーズに関する実践的研究」『静岡文化芸術大学研究紀要』5:21-9.
- , 2008, 「市街地における子育て支援施設の役割と限界——浜松こども館の利用者特性から」『静岡文化芸術大学研究紀要』9:65-72.
- 木脇奈智子, 2012, 「多様化する「子育て支援」の現状と課題——新たなニーズとそれに対応する事例か

- ら』『藤女子大学 QOL 研究所紀要』7(1):37-43.
- 桑畑洋一郎, 2014, 「下関における子育てニーズの現状——ふくふくこども館調査から」『子ども未来学研究』9: 3-17.
- , 2015, 『2014年度(平成26年度)ふくふくこども館満足度調査 結果報告書』下関市次世代育成支援拠点施設ふくふくこども館.
- 松木洋人, 2013, 『子育て支援の社会学——社会化のジレンマと家族の変容』新泉社.
- 大津泰子, 2004, 「中間市における未就学児童に関する子育て支援——子育て支援ニーズ等に関するアンケート調査から」『近畿大学九州短期大学研究紀要』34:, 85-113.
- 下関市, 2014, 『統計しものせき』(<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1364369990076/html/common/other/533a5c16018.xls>, 2014年1月28日取得).
- 武田真由美, 2007, 「A 県における在日外国人の子育てニーズに関する探索的研究——在日外国人保護者、行政担当者、支援者へのインタビュー調査から」『関西学院大学社会学部紀要』103:115-27.

#### 注

- (1) 「6歳以上」を6歳として算出。
- (2) 昨年度利用者から寄せられた意見を受けて、既に配布サービスは始まっていたが、強化・継続されることとなったと考えられる。

#### 付記

なお本研究は、梅光学院大学2015年度研究助成(研究テーマ:「子育て支援施設利用者ニーズの経年比較分析」)に基づいたものである。



付録：調査票

ふくふくこども館満足度調査

【調査ご協力をお願い】

日頃よりふくふくこども館をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、今後本館をさらに利用しやすいものとするために、また、下関市をさらに子育てのしやすい地域とするために、本館への満足度や、子育てに関する意識や実態などを教えていただきたく、この調査のご協力をお願いしております。回答していただいた内容は、皆様の個人情報特定されないよう、すべて統計的な処理を行います。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

ふくふくこども館スタッフ一同

- 1 アンケートは、保護者の方が記入してください。
- 2 回答は番号に○を付けるか数字を記入してください。選択肢の回答が「その他」で（ ）がある場合は（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 3 記入が済みましたら、お手数ですが、本館スタッフにお渡しいただくか、館内に設置しておりますポストに投函してください。
- 4 不明な点、調査に関するお問い合わせは、本館スタッフまでお願いいたします。

ご回答いただく方の状況についてお尋ねします。

問1 ご回答いただいている方はどなたですか。本日ご来館されたお子さんから見た関係でお答えください（○は1つ）。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）

問2 ご回答いただいている方の年齢を教えてください（○は1つ）。

1. ～19歳 2. 20歳～29歳 3. 30歳～39歳  
4. 40歳～49歳 5. 50歳～59歳 6. 60歳～

問3 お子様（お孫様）の年齢・人数を教えてください

1. 0歳 2. 1歳 3. 2歳 4. 3歳  
5. 4歳 6. 5歳 7. 6歳以上 お子様の人数 人

問4 どちらの地域にお住まいですか。

1. 下関市内 ( )
2. 下関市外 ( )
3. 県外 ( )

問5 ご回答いただいている方の現在の就労状況をお答えください (〇は1つ)。

1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) で働いている
2. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で働いている
3. 産休・育休・介護休業中である
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまで就労したことがない

**本館についてお尋ねします。**

問6 本館のことは何でご存知になりましたか (〇はあてはまるものすべて)。

1. パンフレット
2. テレビ
3. 新聞
4. インターネット
5. クチコミ
6. 駅やシーモールなどでの掲示
7. その他 ( )

問7 本館のご利用は今回で何回目ですか (〇は1つ)。

1. 初めて
2. 2回目～9回目
3. 10回以上

問8 今回本館を利用してどのように感じられましたか (〇は1つ)。

1. とても良かった
2. まあ良かった
3. どちらともいえない
4. あまり良くなかった
5. まったく良くなかった

問9 本館に改善してほしい点がありましたら教えてください

(〇はあてはまるものすべて)。

1. スタッフの対応
2. 営業時間
3. 設備の充実
4. 利用料
5. 交通アクセス
6. イベント内容
7. その他 ( )
8. 改善してほしい点は特にない

問10 館への具体的なご要望がありましたら自由にお書きください。

子育て全般の状況についてお尋ねします。

問 11 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所  
はありますか (○は1つ)。

1. いる/ある ⇒ 問 11-1へ 2. いない/ない ⇒ 問 12へ

問 11-1 問 11 で 1 に○をつけた方に お子さんの子育て (教育を含む)  
に関して、気軽に相談できる先は、誰 (どこ) ですか (○はあてはまるものすべて)。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 配偶者・パートナー     | 2. 祖父母等の親族    |
| 3. 友人や知人         | 4. 近所の人       |
| 5. 保育所・幼稚園の保護者仲間 | 6. 子育てサークルの仲間 |
| 7. 保育所・幼稚園の先生    | 8. 子育て支援センター  |
| 9. 保健師、栄養士       | 10. 医師、看護師    |
| 11. 家庭児童相談員      | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. インターネット      | 14. その他 ( )   |

問 12 子育てに関して不安感や負担感などを感じていますか (○は1つ)。

1. 不安や負担をかなり感じる      2. 不安や負担を多少は感じる  
3. どちらともいえない  
4. 不安や負担をあまり感じない      5. 不安や負担をほとんど感じない

問 13 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか(○  
は1つ)。



問 14 あなたは、いま、子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか  
(○はあてはまるものすべて)。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 子どもの発育や病気について     | 2. 子どもの食事や栄養について     |
| 3. 子どものしつけや教育について    | 4. 保育所や幼稚園について       |
| 5. 子連れで参加できるイベントについて | 6. 子どもの遊び場や施設について    |
| 7. 子育ての悩みや相談窓口について   | 8. 子育ての公的助成について      |
| 9. 子育てサークルについて       | 10. 子育ての講座や講演会などについて |
| 11. ほしい情報は無い。        | 12. その他 ( )          |

問 15 子育てに関する情報をどこから入手していますか（〇はあてはまるものすべて）。

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 親族（親、兄弟、姉妹など） | 2. 隣近所の人、知人、友人        |
| 3. 子育ての仲間        | 4. 保育所、幼稚園、学校         |
| 5. 市の広報やパンフレット   | 6. 子育て支援センター・ふくふくこども館 |
| 7. 新聞、テレビ、ラジオ    | 8. 子育て雑誌・育児書          |
| 9. 地域の子育て情報誌     | 10. インターネット・電子メール     |
| 11. 情報の入手手段がない   | 12. その他（ ）            |

問 16 下関市でお子さんと外出する際、困ることは何ですか（〇はあてはまるものすべて）。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 買い物や用事の合間に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 緑や広い歩道が少ないなど、町並みにゆとりとうるおいがないこと
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること
11. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
12. 困ることはない。
13. その他（ ）

問 17 下関市の子育て環境や支援に関してご意見等ありましたら、自由に記入してください。  
ご協力ありがとうございました。